

MIYAZAKI CUP 2026

第Ⅰ戦 日南油津港クリテリウム

2026-27

＜テクニカルガイド＞



主 催	(一社) 宮崎県自転車競技連盟
主 管	(一社) 宮崎県自転車競技連盟
協 賛	日南市・桜の郷酒造

【大会概要】

(1) 期 日 令和8年10月18日(日)

(2) 会 場 日南油津港特設コース(周長1.3km) 左回り(反時計回り)
〒887-0000 宮崎県日南市 588-122付近

(3) 競技規則 最新の公益財団法人日本自転車競技連盟競技規則及び大会特別規則による。

選手カテゴリー・参加者基準

カテゴリー	参加者基準
C1 チャンピオン	レース経験上級者の方対象
C2 エキスパート	レース経験中級者の方対象
C3 ビギナー	レース経験3年未満の方対象
C4 マスター①	50歳以上～59歳未満
C5 マスター②	60歳以上～69歳未満
C6 マスター③	70歳以上～
C7 フェミニン	女性限定
C8 キッズ①	小学5～6年生
C9 キッズ②	小学3～4年生
C10 キッズ③	小学1～2年生

(4) 競技種目

【C1 チャンピオン・C2 エキスパート】 32.5 km

【C3 ビギナー・C4 マスター①・C5 マスター②・C6 マスター③・C7 フェミニン】 19.5 km

【C8 キッズ①・C9 キッズ②・C10 キッズ③】 3.9 km

(5) 表彰

各カテゴリーの1位～3位まで表彰を行う。時間は次の通り

C3～C10は12:15～ C1・C2は15:15～

(6) コース図(周長1.3km) ※必ず試走を行う事。



(7) 駐車場・会場レイアウト①



- | | |
|------------|-----------------|
| ①大会本部 | ⑥観戦エリア |
| ②受付・招集・検車 | ⑦競技役員駐車場 |
| ③来賓者駐車場 | ⑧計測/決審/計時/周回 |
| ④選手・観戦者駐車場 | ⑨機材ピットエリア |
| ⑤選手ピットエリア | ⑩男子(小)トイレ |
| | ⑪女子トイレ(水産研修所の寮) |

(8) 駐車場・会場レイアウト②



- | |
|-----------------|
| ①大会本部 |
| ②受付・招集・検車 |
| ③来賓者駐車場 |
| ④選手・観戦者駐車場 |
| ⑤選手ピットエリア |
| ⑥観戦エリア |
| ⑦競技役員駐車場 |
| ⑧計測/決審/計時/周回 |
| ⑨機材ピットエリア |
| ⑩男子(小)トイレ |
| ⑪女子トイレ(水産研修所の寮) |

(9) 競技日程

令和8年10月18日 (日)

start	Finish	NO	カテゴリー	Event
7:00	～			役員集合、会場・コース設営準備
7:30	～			立哨担当役員MTG
8:00	～			開門 (交通規制開始)
8:00	～			競技役員MTG
8:15	～			県高校新人大会受付開始～
8:30	～ 9:00			コース試走① ※交通ルールの遵守する事。
8:45	～			MIYAZAKI CUP受付開始～
9:30	～ 10:15 (0:45)	1		県高校新人大会ロードレース 男子26.0km(1.3km×20周回) 女子19.5km(1.3km×15周回)
10:20	～ 11:05 (0:45)	2	C3 C4 C5 C6 C7	ビギナー マスター① マスター② マスター③ フェミニン 19.5km (1.3km×15周)
11:25	～ 11:55 (0:30)	3	C8～C10	キッズ (1周1.3km×3周)
11:55	～ 13:00			【休憩】
12:15	～			表彰 (C3～C10)
12:20	～ 12:50			コース試走② ※交通ルールの遵守する事。
13:00	～ 13:30 (0:30)	4		小・中学生自転車リレー
13:45	～ 15:00 (1:15)	5	C2 C1	エキスパート チャンピオン 32.5km (1周1.3km×25周)
15:15	～			表彰 (C1・C2)
15:30	～			交通規制解除、撤収作業

(10) 交通規制

8:00～16:00 までとする。

(11) 映像記録装置

自転車への撮影機材 (カメラ等) の搭載は個人情報保護の観点から禁止する。

(12) ヘルメット

ヘルメットは JCF 公認及び JKA 認定 (競輪用) ヘルメットを自転車乗車時は使用すること。
公認シールが貼付されていない、劣化・破損が確認されるヘルメット等の使用を認めない。

(13) 救護体制

大会期間中は会場では看護師 1 名を配置し負傷者の救護対応を行う。

(14) 保 険

参加者は、各自で傷害保険等に参加すること。大会中の事故・負傷等について、主催者はその責任を負わないものとする。

(15) 大会アナウンス（コミュニケの配布・配信）

大会進行はアナウンスにより行う。また、コミュニケ等の配信については、宮崎県自転車競技連盟公式 SNS で配信する。

なお、大会終了後に宮崎県自転車競技連盟 HP でも配信をする。大会中コミュニケは招集付近に掲示する。



【大会特別規則】

(1) スタート方式

ローリングスタートする、コースの最終コーナーを回り直線に入った地点でリアルスタートとする。MOTO 審判の合図による。

キッズカテゴリーにおいてはマスドスタートとする。

(2) 随行車両

MOTO 1 /先頭、MOTO 2 /後方、の 2 台配置する。場合によってサグワゴン、救急車両が加わる。

(3) 計測チップ・ゼッケン

受付で配布する「計測チップ・ゼッケン」を使用する。 ※各カテゴリー発送予定の 30 分前までに受付を終了する事。

※計測チップはレース終了後直ちに返却する事。

計測チップ



フロントフォーク左側に設置する
中心部より 15 cm 程度上に装着こと

ヘルメットシール

ヘルメットシール（例）



（サイド用）

ヘルメットシールは左右の側面に
番号シールを装着

(4) 機材ピット

Start/finish 地点の計測エリア北側を機材ピットエリアとする。機材ピットエリアへの機材搬入等は徒歩にて行うこと。随行車両による、ニュートラルサービスは行わない。

(5) ニュートラリゼーション

認められる事故が起きた場合はニュートラリゼーションを1周回認める。残り3周回以降のニュートラリゼーションは認めない。認められる事故は『パンク』『正当な落車』『自転車の重要な部分の破損』に限る。

(6) 補給・グリーンゾーン

補給・グリーンゾーンの場所は設けない。補給・ゴミを捨てたことが確認できた場合は失格とする。

(7) 関門・途中棄権

関門は設定しないが、周回遅れとなった選手は原則レースより除外する。

競技途中で自ら棄権する場合は、start/finish 地点の競技役員に伝えること。

(8) 招集・検車（バイクチェック）

招集・検車（バイクチェック）は各カテゴリー出走15分前までに終了する事、サインシートの署名は10分前までに終了する事。検車は日本自転車競技連盟競技規則に準じて行う。

※必ず整備された自転車で参加する事。

(9) 距離・周回数

【C1 チャンピオン・C2 エキスパート】

32.5 km (1.3 km×25 周)

【C3 ビギナー・C4 マスター①・C5 マスター②・C6 マスター③・C7 フェミニン】

19.5 km (1.3 km×15 周)

【C8 キッズ①・C9 キッズ②・C10 キッズ③】

3.9 km (1.3 km×3 周)

(10) 試走・応援観戦について

試走時間①：8：30～9：00 最終コースイン 8：57 とする。

試走時間②：12：20～12：50 最終コースイン 12：47 とする。

試走についてはコース内コース外でも実走のウォーミングアップは安全走行に注意しモラルを守り走行すること。交通ルールに巡視して安全に走行すること。

応援観戦の場所（会場レイアウト①②）に設ける、コース上邪魔にならない場所での応援観戦も可とする。

選手・応援者ともにゴミの投棄など絶対に行わないこと、地域のご理解の上で開催できております。

(11) その他

競技の進行に応じて、スタート時間の変更する場合がある。

計測チップを持ち帰った場合は事務局へ連絡する事 連絡先 大庭 080-5571-5065

予測できない事故や天候の変化により競技運営が不可能と判断した場合、大会を中止または内容を変更する事がある。この場合においては、参加料は返金しない。

【救急体制】

1. 救護本部／First aid station headquarter

観覧車前駐車場の受付・招集テント横に救護本部を設け医療関係者が待機する。また、レース随行の救護車状況などをレースディレクターから情報を得てレース全体の状況を把握する。看護師1名が待機させ、フィニッシュ後の負傷した選手や会場内の負傷者、熱中症の処置、場合によっては病院への搬送の手配を行う。

2. 救護車両体制／First aid vehicles

救護車両を待機させ、レース中負傷者が出了場合は救護車両をコースへ進入し負傷者の搬送にあたる。

3. 事故・負傷者発生時について／In a case of accident

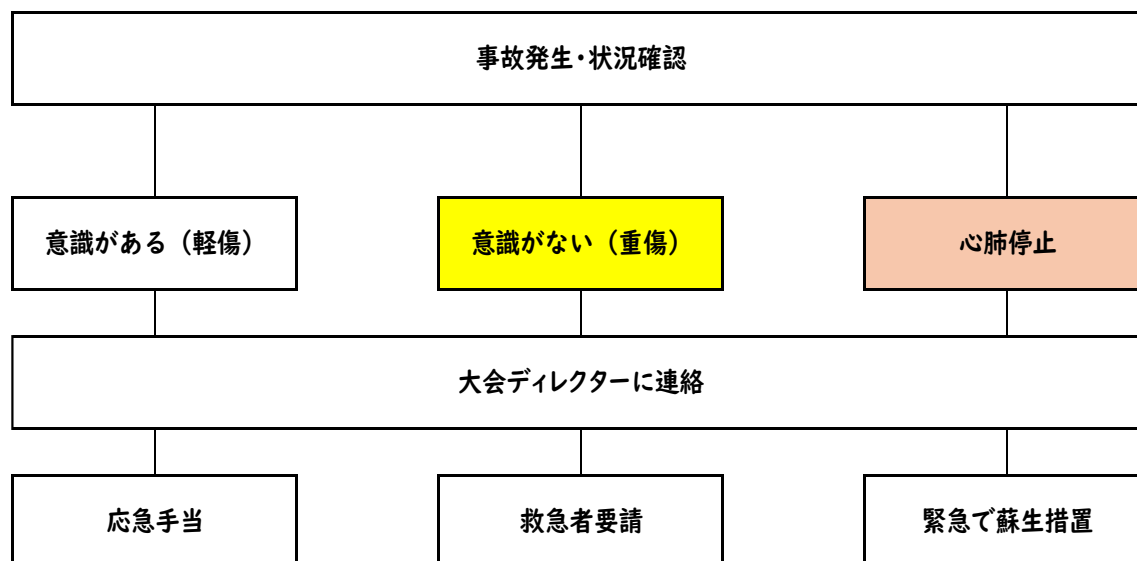
事故、負傷者発生の一報を受け現場に看護師が駆けつけ現場の競技役員・立哨員と連携し、必要な処置を行う。レース中においては救護車両に看護師が乗車し救急処置を行い、緊急の場合は救急車を要請する。

救急要請は大会本部から要請する。事故・負傷者の発生情報は常に大会本部に連絡を入れ情報共有を図る。重大事故発生時には、救護本部・警察・消防・救急病院と連絡を取り搬送などの処置をする。また、場合によってはレースを中断することもある。その場合、レースはニュートラルの状態とする。

4. 競技負傷者への対応／Treatment to injured competitors

競技者に対し看護師が治療処置を行いレースできる状態と判断した場合はレース復帰可能とする。なお、救護所または病院搬送の場合、負傷状況に応じて（救護車両）で役割分担を図る。

【病院への搬送手順】





①対策図



■誘導矢印設置、カラーコーンでコースライン、コースマーシャルによる注意喚起。

②対策図



■誘導矢印設置、カラーコーンでコースライン、コースマーシャルによる注意喚起。

③対策図



■誘導矢印設置、カラーコーンでコースライン、コースマーシャルによる注意喚起。

■イレクターフェンスにエアマット取付け、オーバーラン対策。

④対策図



■カラーコーンでコースライン、立哨員による注意喚起。

⑤対策図



■誘導矢印設置、カラーコーンでコースライン、コースマーシャルによる注意喚起。

■イレクターフェンスに減速看板設置。

⑥対策図



■ カラーコーンでコースライン、テント前イレクターフェンス設置。